

会計名 一般会計			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	2					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。			主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○パンフレット「歴史の小径」の作成 ○歴史資料等の購入事前調査及び購入			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例					
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 全国史跡整備市町村協議会参加 指定文化財報告書の作成準備 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 愛知県史跡整備市町村協議会参加 指定文化財報告書の作成 史跡解説板の製作・設置 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 愛知県史跡整備市町村協議会参加 高札型案内板撤去 		<ul style="list-style-type: none"> 「歴史の小径」の増刷 歴史資料等の購入事前調査及び購入 愛知県史跡整備市町村協議会参加 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径パンフレット「東海道編」、「刈谷城・天誅組編」等を増刷し、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。 							
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）	4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
指標		30.4	—	31.7	33.1	35.0			
他市との比較検証	管理する指定文化財の数や種類が市町村ごとに異なるため、他市との比較は難しい。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①	3,891	2,142	2,890	2,869	合計	2,890,026 円		
	財源	特定財源	0	0	87	0	報償費	32,000 円	
		一般財源	3,891	2,142	2,803	2,869	旅費	45,820 円	
	職員人件費 ②	1,114	1,136	1,418	1,442	需用費	275,000 円		
	総事業費（①+②）	5,005	3,278	4,308	4,311	役務費	3,870 円		
建設 事業	全体事業費（単位：千円）	0		6年度特定財源名称			委託料	454,300 円	
	6年度までの累積事業費	0		冊子等頒布収入			使用料及び賃借料	201,666 円	
	8年度以降の事業費見込	0					備品購入費	1,862,370 円	
						負担金、補助及び交付金	15,000 円		

会計名			文化財保存管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	文化財を保護保存し未来へ伝えていく事業であり、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	各種パンフレットについては、印刷製本費のコスト削減を目指し、ホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	文化財の適切な保護や保存は長期的な視点が求められており、愛知県文化財室や刈谷市文化財保護審議会委員と連携をとって行う必要があることから、市が主体となるべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていき、郷土の魅力を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を高めることに繋げていくため、パンフレット「歴史の小径」などを活用するとともに、市内史跡を現地で紹介する案内板の管理を適正に進め、市民に地域の文化財の啓発普及に努める。 また歴史博物館を核として、企画展などを通じて地域に眠っている魅力ある文化財の掘り起こしを行い、活用を図る。					

会計名			めでたきとり展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○企画展の開催 会期 令和6年4月27日～6月9日（39日間） 入場料 一般（高校生以上） 600円 中学生以下・障害者 無料			
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	市章のモチーフである「雁」を主軸とし、刈谷・愛知にゆかりのある鳥たちを表した美術工芸品を紹介し、この地域に棲息する鳥たちを、作品を通して愛でる機会を提供する。 また、令和6年は刈谷市歴史博物館開館5周年の節目の年にあたるため、祝賀のモチーフとしてよく用いられる鳳凰や鶴の作品についても展覧する。								
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和6年度 ～ 令和6年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		—		—		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 2回 ・工作イベント 1回 ・ふれあい体験イベント 1回 ・クイズラリーの実施		—		
成果		開館5周年を記念し華やかな展覧会としたことで「歴史系の博物館」への心理的ハードルを下げ、より広い客層に当館のことを訴求することができた。また、展示されている作品に描かれた鳥の生体と実際に触れ合う体験イベントを行い、美術工芸品をより身近に感じ、親しみをもってもらうことで、来館者の今後の鑑賞体験がより実りのあるものになることができた。								
課題		なるべく多くの種類の鳥を取り上げたいと考えたため、それぞれの鳥や展示作品の解説に深みを持たせることができなかった。今後同様のテーマを取り上げる際は、種類を限定する（例えば、「雁」だけをピックアップする）などとして、より作品を深く掘り下げられるような展覧会にしていきたい。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
成果指標		入場者数（人）		—	—	4,020	—	—		
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）		—	—	76.5	—	—		
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	11,527	0	合計	11,526,926 円		
	財源	特定財源	0	0	1,406	0	報酬	1,291,164 円		
		一般財源	0	0	10,121	0	報償費	197,700 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,010	0	旅費	226,670 円		
	総事業費（①+②）		0	0	14,537	0	需用費	91,346 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入 講座受講料						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			めでたきとり展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。特に地域の事情をよく知る学芸員が企画立案して企画展を開催することは、郷土の歴史文化への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遠方の他館で所蔵されている普段は目にすることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史文化への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって補う。					

会計名 一般会計			石器時代を生きる展開催事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	歴史博物館			
10	5	13					担当係	歴史博物館			
P L A N の 計 画 要 素	総合計画 施策体系		分野	教育文化							
			基本施策	歴史・文化・観光交流							
			施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的		旧石器時代から縄文時代にかけての石器の変遷や技術、使い方について、市内や県内の遺跡から出土した資料を用いて紹介し、先史時代の生きる術や工夫を学び現代に活かす機会を提供する。			主たる内容	○企画展の開催 会期 令和6年7月13日～8月25日（38日間） 入場料 無料				
	位置づけ		第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法、博物館法							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	令和6年度 ～ 令和6年度				
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B D O の 実 績 実 施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
						<ul style="list-style-type: none"> 講演会 1回 ギャラリートーク 2回 石器作り体験イベント 4回 大学連携イベント 1回 ペーパーウエイト作りイベント 1回 ナイトミュージアム 1回 クイズラリーの実施 					
成果		石器をテーマとした展示は少なく、これまで展示されることのなかった刈谷出土の資料を多く展示することができた。また、石器製作の動画を使い解説を行うことなど、具体的に理解しやすい展示としたことで、刈谷の旧石器時代から縄文時代の様子を紹介することができた。									
課題		体験イベントとして開催した石器づくりイベントは安全性を考慮して人数を絞らざるを得ず、回数を多く設定したものの、多数の方が落選となってしまった。より広い会場での開催など、多くの方が楽しめる方法を検討していく。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
成果指標		入場者数（人）			—	—	4,622	—	—		
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）			—	—	92.1	—	—		
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。									
C の 事 業 コ ス ト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	5,481	0	合計 5,481,209 円				
	財源	特定財源	0	0	16	0	報酬	629,216 円			
		一般財源	0	0	5,465	0	報償費	204,100 円			
	職員人件費 ②		0	0	2,612	0	旅費	14,440 円			
	総事業費（①+②）		0	0	8,093	0	需用費	535,393 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
6年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 講座受講料							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名			石器時代を生きる展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。また、埋蔵文化財保護行政は文化財保護法に基づく法的業務であり、調査研究の成果を公表する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	常設展示では出すことのできない資料や、他館で收藏されている普段は目にすることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。親子連れなどが気軽に歴史文化に親しむ経験を提供するため、年1回は入場無料の企画展を開催していく。					

会計名 一般会計			土井利位展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	刈谷藩出身で江戸幕府の老中を務めた土井利位の事績とともに、「雪華図説」を刊行した文人大名としての一面を紹介することで、地域の歴史文化を学ぶ機会を提供する。	主たる内容	○企画展の開催 会期 令和6年10月5日～11月17日 (38日間) 入場料 一般(高校生以上) 600円 中学生以下・障害者 無料						
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和6年度 ～ 令和6年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		—		—		・講演会 2回 ・展示説明会 1回 ・ギャラリートーク 4回 ・雪の結晶作り体験イベント 1回 ・クイズラリーの実施		—		
成果		雪の結晶の研究をしたことで知られる土井利位が、刈谷藩出身であることを市内外に周知することができた。さらに、雪の結晶の研究のみならず、幕府の要職を歴任し転換期の幕政に大きな影響を与えた人物であることも紹介することができた。また科学イベントの開催などによって、歴史だけでなく科学に興味のある方の来館を促進することができた。								
課題		文化庁から補助金受給の要件として「インバウンドの来館促進」が求められ、外国人向けパンフレットの作成や留学生の見学会を開催したが、外国人観光客の誘致までには至らなかった。今後は、広報の方法や観光事業者との連携を図り、外国人観光客のツアー誘致などを目指していきたい。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
成果指標		入場者数（人）	—	—	1,883	—	—			
成果指標		来館者アンケートの満足度「とてもよい」「よい」の割合（%）	—	—	71.0	—	—			
他市との比較検証		展示室の面積、展示期間が博物館によって異なるため、当館との比較は難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	16,471	0	合計	16,471,254 円		
	財源	特定財源	0	0	9,083	0	報酬	1,235,064 円		
		一般財源	0	0	7,388	0	報償費	282,380 円		
	職員人件費 ②		0	0	3,408	0	旅費	346,630 円		
	総事業費（①+②）		0	0	19,879	0	需用費	3,115,730 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		文化資源活用事業費補助金				
		8年度以降の事業費見込		0		入場料 冊子等頒布収入 講座受講料				

会計名			土井利位展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	文化庁の補助金を受給して開催したため、市の負担は半減した。また、資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐとともに、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上でやっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度にはなじまない。特に学芸員の調査研究の成果としてオリジナリティのある企画展を開催することは、郷土の歴史への魅力を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	重要文化財などの普段は目にするのでできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入場料を設定し、一部受益者負担によって補う。					

会計名 一般会計			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用							
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。			主たる内容	○市内中学1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史体験講座の開催 ○簡単工作の実施 ○甲冑試着体験の開催 ○古文書解読講座の開催				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	社会教育法、博物館法						
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ~			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・市内中学1年生見学 6校 1,296人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・ミニシアターの上映 ・マジックショーの開催 ・古文書解読講座の開催		・市内中学1年生見学 6校 1,341人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・歴博ゼミナールの開催 ・古文書解読講座の開催 ・開館5周年記念イベント開催 ・天誅組160年記念講演会、連続講座の開催		・市内中学1年生見学 6校 1,423人 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・歴博ゼミナールの開催 ・古文書解読講座の開催		・市内中学1年生見学 ・歴史体験講座開催 10回 ・簡単工作の実施 ・甲冑レプリカ試着体験開催 ・歴博ゼミナールの開催 ・古文書解読講座の開催		
成果		・簡単工作のポイントカード制度が定着し継続的な来館に繋がり、来館者数の増加に貢献した。 ・歴史体験講座をはじめ利用者のニーズにあった講座、イベント内容の選定を行ったことにより、アンケート結果において満足度の高いイベントを開催することができた。								
課題		各回の定員が少ないので抽選に漏れてしまう方が多いが、会場規模が限られる中での工夫が必要である。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
成果指標	簡単工作参加者数（人）	4年度	5年度	6年度	7年度	9年度				
成果指標	歴史体験講座受講者数（人）	2,502	2,618	3,092	3,100	3,100				
C 事業コスト	他市との比較検証									
	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
財源	事業費①	5,199	4,307	4,187	5,129	合計	4,186,538 円			
	特定財源	424	528	642	616	報償費	75,780 円			
	一般財源	4,775	3,779	3,545	4,513	需用費	843,478 円			
	職員人件費②	5,180	5,241	5,439	5,410	委託料	754,000 円			
	総事業費（①+②）	10,379	9,548	9,626	10,539	使用料及び賃借料	2,513,280 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		6年度特定財源名称						
	6年度までの累積事業費	0		簡単工作参加料 講座受講料						
	8年度以降の事業費見込	0								

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	博物館における教育普及活動は、博物館法第3条において博物館が行う事業の一つとして明記されており、必要性の高い事業である。また、中学校学習指導要領（社会科）において、「博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用」が挙げられており、学校教育上必要な事業でもある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	学校見学については、指導主事と学芸員が連携して行い、継続して実施することで質の向上に努めている。また、歴史体験講座等については、多様なサービスを提供する観点から業務委託による運営を行っており、最大の効果を出せる状況にある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	学校見学においては、現場を熟知している指導主事が学校と博物館の橋渡し役を務めている。また、歴史体験講座等においても学芸員の経験等が求められることから、市が主体となって実施するのが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	教科書に載っていない地域の歴史を伝える施設は市内においても他にあるが、刈谷の歴史を総合的に伝える施設は博物館以外になく、市民に地元への愛着を持つ機会を提供する役割が期待されている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
博学連携に関して、学校では体験できない博物館ならではの体験学習の支援を今後も行っていく。 来館者アンケート等を参考に、魅力的なイベントや簡単工作を実施していくことに加え、愛知教育大学との連携等を活用し、就学前の子どもや学生等幅広い世代の来館を促し、歴史に触れる体験を提供していく。					

会計名 一般会計			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	1			担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。			主たる内容	市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法					
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度 ~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・資料調査の実施 16回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 12回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 23回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理	
成果		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理を進めることができた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 ・新聞記事により、刈谷関係及び文化財関係記事のデータベース化を行った。 新しく収集した資料が多く、今後その整理と内容の分析を行う必要がある。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		調査回数（回）			16	12	23	15	15
活動指標									
他市との比較検証		名古屋市や安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,771	9,303	10,176	11,311	合計	10,176,120 円	
	財源	特定財源	65	49	46	42	報酬	5,808,096 円	
		一般財源	8,706	9,254	10,130	11,269	職員手当等	1,947,591 円	
	職員人件費 ②		3,900	3,975	4,125	4,195	旅費	58,520 円	
	総事業費（①+②）		12,671	13,278	14,301	15,506	需用費	2,355,313 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入			
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物及び調査記録を整理・保存する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
B 事業実績	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 591件 ・試掘・確認調査 34件 ・工事立会 31件 ・緊急発掘調査 1件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 544件 ・試掘・確認調査 39件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 373件 ・試掘・確認調査 22件 ・工事立会 46件 ・緊急発掘調査 0件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 500件 ・試掘・確認調査 40件 ・工事立会 40件 ・緊急発掘調査 1件			
	成果	試掘調査では、小垣江町内の紫雲寺東遺跡や、八幡町の前屋敷第1号貝塚において、状況に対応しながら実施し適切な指導を行うことができた。試掘・確認調査の出土遺物についてはすべて1次整理まで実施することができた。昨年度公開したかりマップにより、インターネットで埋蔵文化財の包蔵地確認ができるようになり、窓口照会の件数削減につながった。								
	課題	文化財保護法に基づく発掘届が提出されないまま工事が着手される事例は今年度はなかった。しかし、今後も発生しないよう、埋蔵文化財の取扱手続の周知について、継続して力を注いでいく必要がある。 発掘調査がなかったため、職員や発掘作業員の現場経験を積む機会が得られなかった。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	1次整理作業実施率（％）			100	100	100	100	100	
	活動指標	2次整理作業実施件数（件）			2	2	2	2	2	
他市との比較検証	・安城市では、埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 ・西尾市では、遺跡地図をGISで公開している。									
C 事業コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費①	12,935	11,666	12,269	15,848	合計	12,268,718円			
	財源	特定財源	8	26	52	29	報酬	8,159,664円		
		一般財源	12,927	11,640	12,217	15,819	職員手当等	2,148,641円		
	職員人件費②	8,418	8,578	6,116	6,220	旅費	124,490円			
	総事業費（①+②）	21,353	20,244	18,385	22,068	需用費	100,822円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		6年度特定財源名称					
6年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	2					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。		主たる内容	国、県、市指定文化財の保存、管理に要する経費について、文化財の所有者又は管理者に対して補助金を交付する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱					
		対象者	指定文化財の所有者		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 市指定文化財「野田村古文書」を保管する野田史料館に対する修繕料の補助 市指定史跡「松本奎堂碑」の環境整備に対する補助 市指定史跡「土井家廟所」の環境整備に対する補助 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである「松根第3号窯」の遺構保存処理及び除草業務に対する補助 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助 市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである「松根第3号窯」の除草業務に対する補助 市指定文化財「地獄の絵巻物」の修理に対する補助 		以下の事業に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復 市指定史跡「井ヶ谷古窯跡群」の構成要素の一つである「松根第3号窯」の除草業務 市指定文化財「地獄の絵巻物」の装丁新調 野田史料館照明のLED化 	
成果		市指定の天然記念物、史跡及び文化財の保存のため事業費の2/3を補助し、貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるよう支援することができた。							
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の適正な管理・保存のため、保存状態等を把握し、聞き取りや助言を行う機会を増やす必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標	補助件数（件）		4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
指標			4	1	3	4	—		
他市との比較検証	近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万円以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし								
C 事業 コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①	3,020	463	589	1,059	合計	589,432 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	589,432 円	
		一般財源	3,020	463	589	1,059			
	職員人件費 ②	211	215	223	227				
	総事業費（①+②）	3,231	678	812	1,286				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		6年度特定財源名称					
	6年度までの累積事業費	0							
	8年度以降の事業費見込	0							

会計名		史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用						
	目的	市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。	主たる内容	○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成15年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 実績 O 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・史跡めぐり案内（3回：城下町コース、鎌倉街道コース、小垣江コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明		・史跡めぐり案内（3回：井ヶ谷コース、元刈谷コース、一ツ木コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明		・史跡めぐり案内（3回：高須コース、まちなかコース、東海道コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明 ・ボランティア養成講座の実施		・史跡めぐり案内（3回：重原コース、高津波・小山コース、泉田コース） ・小学3年生体験学習における案内、説明	
成果		刈谷ふるさとガイドボランティアの会会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心を持って活動している結果、毎回定員を上回る応募があり、アンケートの結果からは9割以上の参加者から「また参加したい」との評価を得た。							
課題		参加者の増加、借りられる場所の減少に伴い、駐車スペースの確保が年々難しくなっていることが課題となっている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
成果指標		史跡めぐりの参加者数（人）			155	135	156	150	150
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			30.4	—	31.7	33.1	35.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		181	181	180	182	合計	179,656 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	7,656 円	
		一般財源	181	181	180	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②		550	560	581	591			
	総事業費（①+②）		731	741	761	773			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	これまでに市内で実施した遺跡の発掘調査について、報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般に公開し、本市の歴史研究の一助とする。				主たる内容	検出遺構や出土遺物に関する記述や考察等の文章データや画像データの作成・編集と報告書の印刷を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書刊行 ・刈谷城跡報告書作成業務委託		・刈谷城跡報告書刊行 ・宮東第1号貝塚発掘調査(平成10～28年度実施)報告書刊行		・宮東第1号貝塚発掘調査(平成30年度実施)報告書刊行		・野田城他(中世城館関係遺跡)出土遺物自然科学分析業務委託		
成果		平成30年度に実施した宮東第1号貝塚発掘調査の成果を広く一般に公開することができた。								
課題		現在は作業スペースや人員の制約で一年度中に1冊の報告書を刊行しているが、未報告のものが多くあるため、今後も計画的に刊行を進め、刊行ペースアップのために引き続き業者への委託も検討していく。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		報告書刊行数(冊)			1	2	1	0	2	
活動指標		報告書頒布部数(冊)			5	24	29	10	10	
他市との比較検証		安城市や豊田市では、発掘調査後数年の内に複数の報告書を刊行している。 ・安城市の報告書刊行数 令和5年度 2冊、令和6年度 2冊 ・豊田市の報告書刊行数 令和5年度 2冊、令和6年度 2冊								
C 事業コスト		単位：千円		4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(予算)	6年度事業費内訳		
	事業費①		10,106	10,238	1,559	700	合計 1,558,930円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	200,000円		
		一般財源	10,106	10,238	1,559	700	需用費	745,250円		
	職員人件費②		9,095	8,885	5,638	4,114	役務費	19,680円		
	総事業費(①+②)		19,201	19,123	7,197	4,814	委託料	594,000円		
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0								
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	歴史博物館			
款	項	目					担当係	歴史博物館			
10	5	13									
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化財の保護・伝承								
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など歴史博物館の維持管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B事業実績 D実績 O A 実施V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 			
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。									
課題		文化財保管のため施設の状態を常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。開館から6年経過し、定期点検時に部品の交換や小さな故障の報告が増えてきているが、予算に限られているため、緊急性の高いものから実施していく。									
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値		
		4年度	5年度	6年度	7年度	9年度					
成果指標	総入館者数（人）	30,154	39,624	38,852	38,900	39,600					
活動指標											
他市との比較検証	施設の規模、設備、築年数等の条件が異なることから、比較は難しい。状況に応じ、効率的かつ効果的な管理を行っていく。										
C事業コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳					
	事業費 ①	53,769	41,861	48,139	54,026	合計	48,139,349 円				
	財源	特定財源	97	136	181	197	需用費	23,810,338 円			
		一般財源	53,672	41,725	47,958	53,829	役務費	394,440 円			
		職員人件費 ②	4,518	4,527	4,619	4,697	委託料	23,788,948 円			
		総事業費（①+②）	58,287	46,388	52,758	58,723	使用料及び賃借料	145,623 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
6年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入							
8年度以降の事業費見込		0									

会計名		収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					13			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	展示・収蔵品及び設備の管理を行うことで 展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域 の人々に歴史文化の魅力を提供する。		主たる内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託				
	位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画 根拠法令 博物館法、文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ~				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 歴史ひろば機器保守点検委託 燻蒸業務委託 1回 文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱 3件 古典籍等用収納箱17件 展示品・収蔵品撮影委託 静観堂屏風等 8件 刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史ひろば機器保守点検委託 燻蒸業務委託 2回 文化財什器製作業務委託 掛軸・調度品等収納箱16件 展示品・収蔵品撮影委託 掛軸等 13件 刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史ひろば機器保守点検委託 燻蒸業務委託 1回 文化財什器製作業務委託 槍、弓、高札収納箱 6件 展示品・収蔵品撮影委託 卷子、文箱、掛軸等 10件 刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等 博物館要覧の印刷製本 等 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史ひろば機器保守点検委託 燻蒸業務委託 1回 文化財什器製作業務委託 掛軸・武具類収納箱 41件 展示品・収蔵品撮影委託 掛軸、染織、卷子等 10件 刀剣類保存作業業務委託 刀 1件 等 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 文化財什器である槍や弓等の収納箱の製作により、これまで梱包されていなかった資料を箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨及び保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。 						
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に活用できるように画像データを整える必要がある。							
活動指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標	文化財什器製作数（件）		20	16	6	41	20		
活動指標	展示品・収蔵品撮影（件）		8	13	10	10	10		
他市との比較検証	施設の設備や収蔵している資料の種類、状態、数等の条件が異なることから比較は難しい。状況に応じ、優先順位をつけ、予算を効果的に活用し管理を行っていく。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,727	5,187	5,161	5,384	合計	5,161,402 円	
	財源	特定財源	0	0	0	9	需用費	1,814,752 円	
		一般財源	4,727	5,187	5,161	5,375	役務費	89,210 円	
	職員人件費 ②		1,190	1,212	1,179	1,199	委託料	3,257,440 円	
	総事業費（①+②）		5,917	6,399	6,340	6,583			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収蔵品補修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	歴史博物館	
10	5	13					担当係	歴史博物館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化財の保護・伝承						
	目的	市が所有している文化財の修繕を行い、文化財を後世に伝える。			主たる内容	歴史博物館の所蔵資料の修復を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例					
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		所蔵資料2点の修復を行った。 ・屏風「都築華城筆山水図屏風」 ・扁額「千巻舎扁額」		所蔵資料2点の複製製作を行った。 ・額装「松本奎堂肖像画」 ・額装「宍戸弥四郎肖像画」 所蔵資料1点の修復を行った。 ・掛軸「澤梅谷筆花籠に文鳥」		所蔵資料2点の修復を行った。 ・掛軸「澤梅谷筆山水画」 ・掛軸「池田友八郎肖像画」		所蔵資料2点の修復を行う。 ・掛軸「東境村絵図」 ・掛軸「土井利位書幅」	
成果		所蔵資料の修復を行い、市民の財産である文化財を将来へ継承するとともに、展示が可能となった。							
課題		市が所蔵する歴史資料の保存状態を調査し、把握する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	収蔵品修復・複製製作件数（件）			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
指標				2	3	2	2	3	
他市との比較検証	収蔵している資料の種類、状態は異なることから、比較は難しい。個々の資料の状態を確認しつつ、資料の価値や活用予定等を鑑み、優先順位をつけ行っていく。								
C 事業 コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,546	848	1,240	1,453	合計	1,239,700 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,239,700 円	
		一般財源	1,546	848	1,240	1,453			
	職員人件費 ②		437	368	382	389			
	総事業費（①+②）		1,983	1,216	1,622	1,842			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収藏品管理システム管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	歴史博物館の収藏品を適切に管理する。			主たる内容	歴史博物館の収藏品管理システムを管理・運用する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開 収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説及び音声ガイドの公開 		<ul style="list-style-type: none"> 収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開 収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説の更新 収藏品データの充実化 		<ul style="list-style-type: none"> 収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開 収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説の更新 収藏品データの充実化 		<ul style="list-style-type: none"> 収藏品管理システムによる収藏品データの一部公開 収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の展示解説の更新 収藏品データの充実化 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。 新規収蔵資料も逐次追加し、データを適切に管理し、データベースを充実させることができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれないため、引き続き整理を進める必要がある。 現在収藏品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、ホームページ等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。 								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	資料閲覧者数（人）				125	164	352	360	400	
活動指標										
他市との比較検証	改正博物館法では、第3条第1項に定める博物館の事業に「博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること」が追加され、デジタル技術を活用した博物館資料のデジタルアーカイブ化とその管理及び活用のため、デジタル化に取り組むこととされており、各市町の博物館が取組を進めている。 知多市歴史民俗博物館が当市と同様のシステムを導入している。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①	516	520	520	851	合計	519,860 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	96,360 円		
		一般財源	516	520	520	851	委託料	27,500 円		
		職員人件費 ②	512	522	462	470	使用料及び賃借料	396,000 円		
		総事業費（①+②）	1,028	1,042	982	1,321				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0								
8年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			資料収蔵庫整備事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	5	13					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化財の保護・伝承							
	目的	現在使用している収蔵庫の取り壊しや改修に伴い、保管している収蔵品を、適切な環境で管理を行うため、代替収蔵庫を確保し、保存継承を図る。			主たる内容	城町図書館の収蔵庫に保管している博物館資料の移転先となる代替施設の建設を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	文化財保護法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和6年度 ~ 令和7年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		—		—		<ul style="list-style-type: none"> 代替施設となる民俗収蔵庫の設計 民俗収蔵庫の建設工事 		<ul style="list-style-type: none"> 民俗収蔵庫への城町図書館からの収蔵棚移設、収蔵棚の新設及び資料の移動 南部生涯学習センター屋外倉庫の収蔵庫への改装及び郷土資料館からの資料の移動（R6繰越分） 民俗収蔵庫の建設工事 		
成果		新しい民俗収蔵庫の設計を行い、前室を設置するなどこれまで以上に保存に適した施設とすることができた。								
課題		市民の蔵などに眠っている民俗資料は今後も寄贈の申込みが増えることが想定されるが、現状の収蔵庫の面積から増やすことができなかったため、受け入れ可能な資料の量に限りがある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	収蔵庫の設計件数（件）				—	—	1	—	—	
活動指標	収蔵資料の移転件数（件）				—	—	—	2	—	
他市との比較検証	収蔵庫の状況は各市で異なるため、比較することは難しい。地域に存在する貴重な資料を、資料収集方針に従い、適正に収集を進めるとともに、限られた収蔵スペースを有効活用し、資料の適正管理に努める。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	16,797	33,918	合計	16,797,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	27,348	委託料	2,145,000 円		
		一般財源	0	0	16,797	6,570	工事請負費	14,652,000 円		
	職員人件費 ②		0	0	741	1,903				
	総事業費（①+②）		0	0	17,538	35,821				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		50,715		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		16,797								
8年度以降の事業費見込		0								

会計名		次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	5					13			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	歴史文化の普及・啓発・活用						
	目的	次年度以降の企画展開催に向けた資料調査・借用交渉及び次年度春の企画展の印刷物制作を行うことで、事業の円滑な遂行を図る。	主たる内容	○次年度春の企画展のポスター・チラシ・図録のデザイン作成及び印刷 ○次年度以降企画展の資料調査及び借用交渉					
	位置づけ	関連計画		第2次文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画					
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・令和5年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和5年度以降企画展の事前調査		・令和6年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和6年度春季企画展の事前広報 ・令和6年度以降企画展の事前調査		・令和7年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和7年度春季企画展の事前広報 ・令和7年度以降企画展の事前調査		・令和8年度春季企画展のポスター・チラシ・図録等作成 ・令和8年度春季企画展の事前広報 ・令和8年度以降企画展の事前調査	
成果		・令和7年度春季企画展の印刷物を制作し、会期以前に効果的に広報することができた。 ・令和7年度以降の企画展における展示資料の選定を行うことができ、展覧会の質を上げることができた。							
課題		国宝や重要文化財など魅力的な資料は早めに資料調査や借用交渉に動くことが大事であるが、2年後に開催予定の企画展までしか動いていないのが現状である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	事前調査を行っている次年度以降開催予定の企画展数（本）		4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
			6	6	6	6	9		
他市との比較検証	他施設より資料を借用する企画展を開催している岡崎市美術博物館や安城市歴史博物館では、2～3年後の企画展の事前調査を常に行っている。								
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,078	2,841	3,085	3,156	合計	3,085,280 円	
	財源	特定財源	0	0	0	50	報償費	40,000 円	
		一般財源	4,078	2,841	3,085	3,106	旅費	349,890 円	
	職員人件費 ②		2,063	2,102	2,110	2,503	需用費	2,524,890 円	
	総事業費（①+②）		6,141	4,943	5,195	5,659	役務費	137,500 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0							